

図2 平成20年10月から平成21年4月までのオペレーター体制

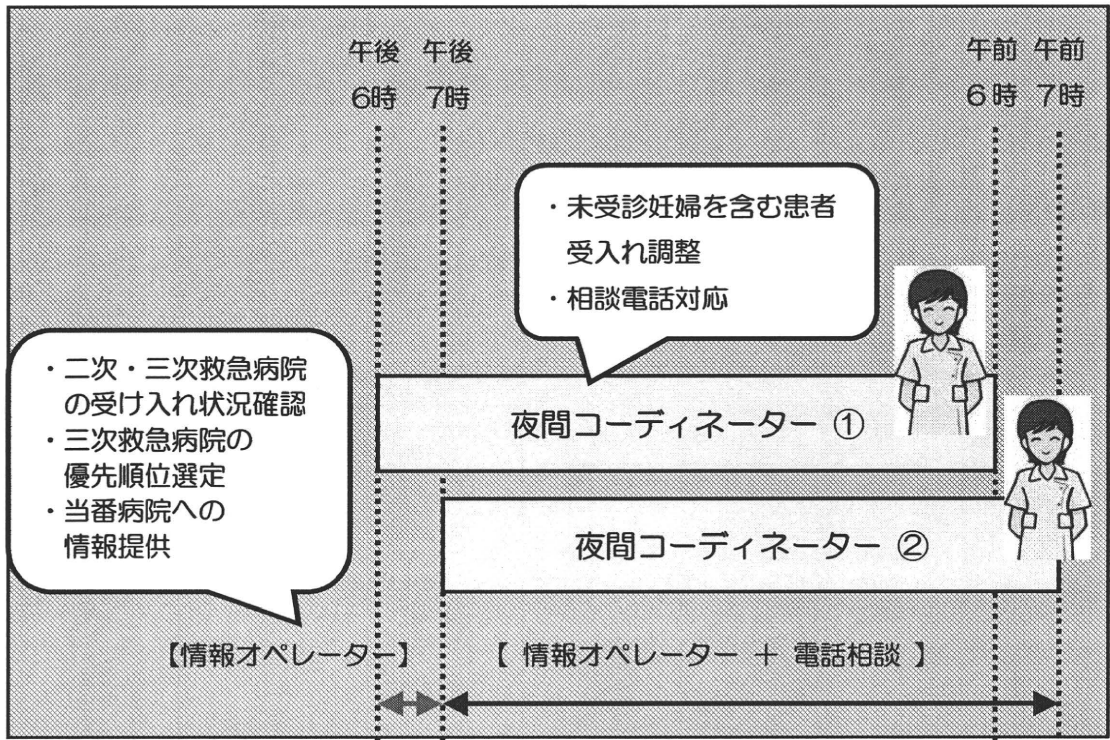


図3 平成21年4月から平成22年3月のオペレーター体制

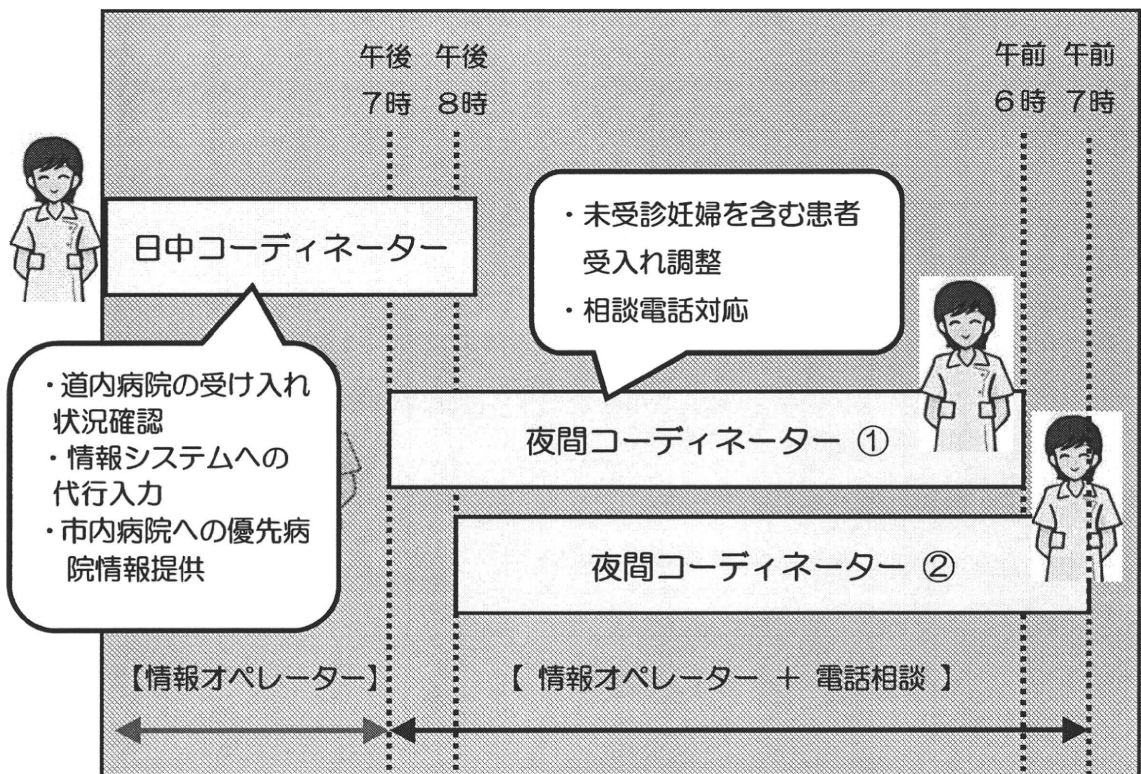
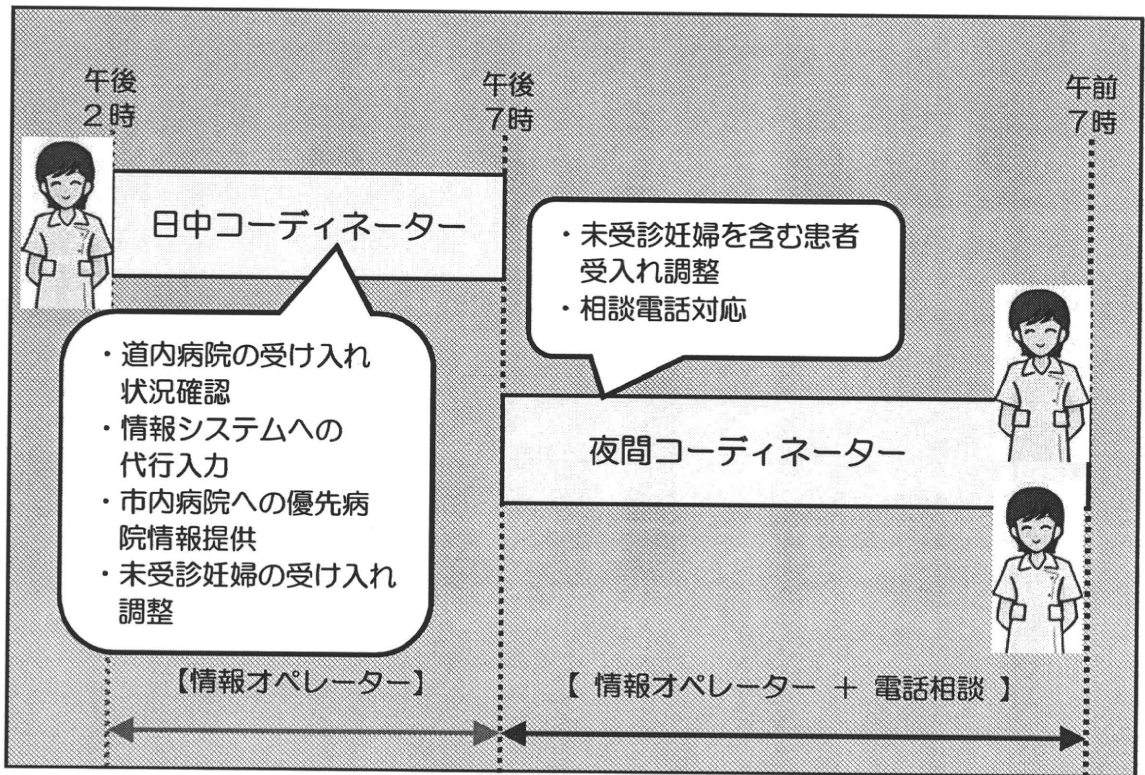


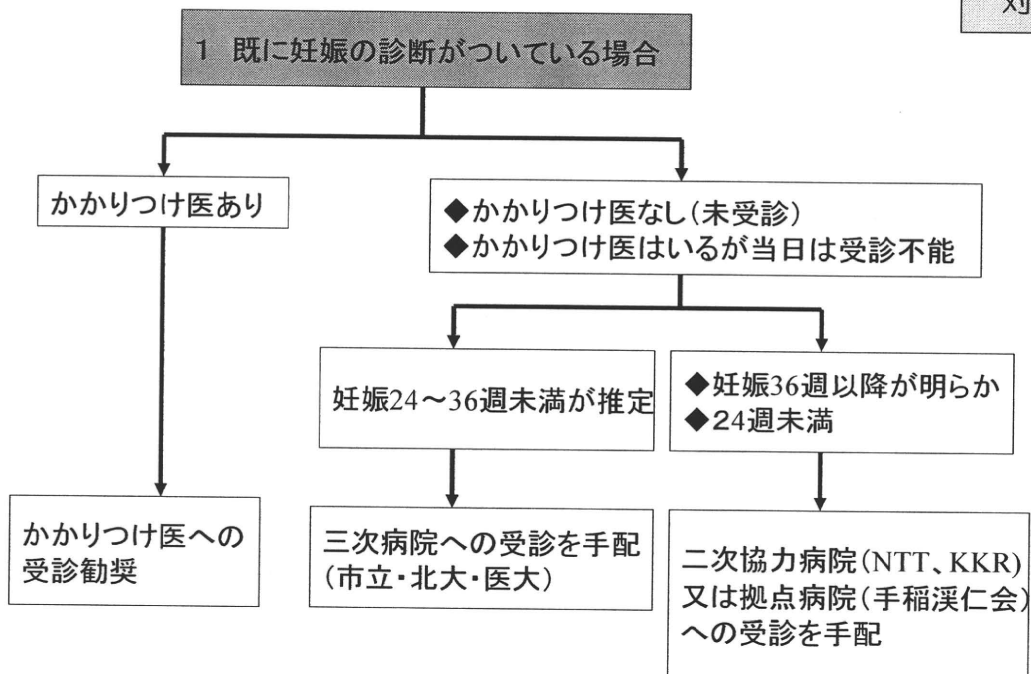
図4 平成22年4月から現在までのオペレーター体制



資料1 市民対応マニュアル

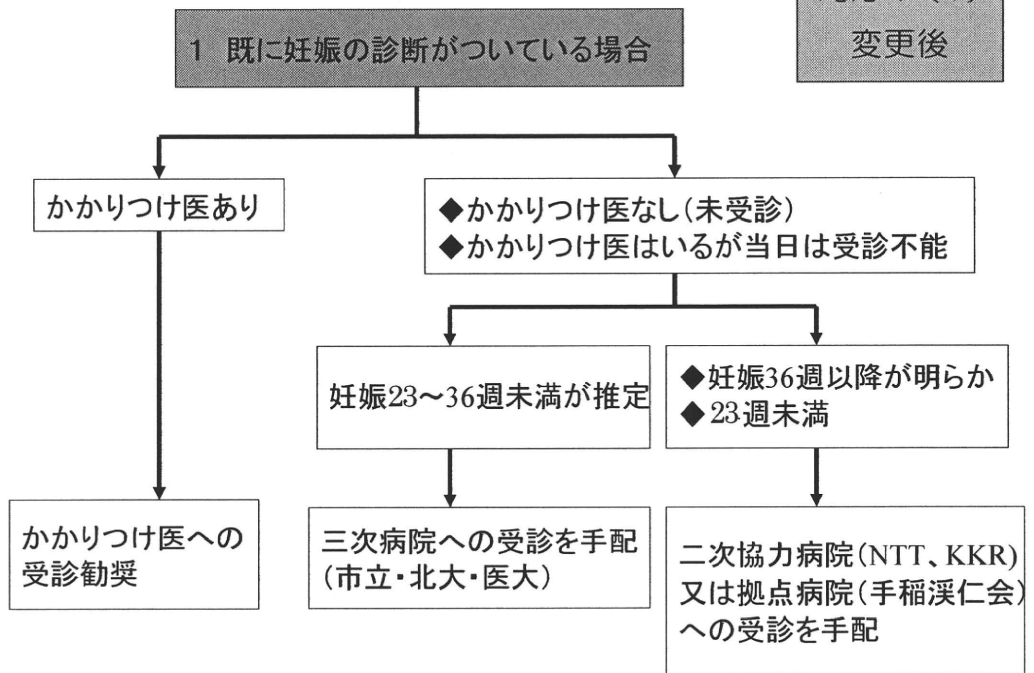
電話相談における振り分け要領(1)

対応1

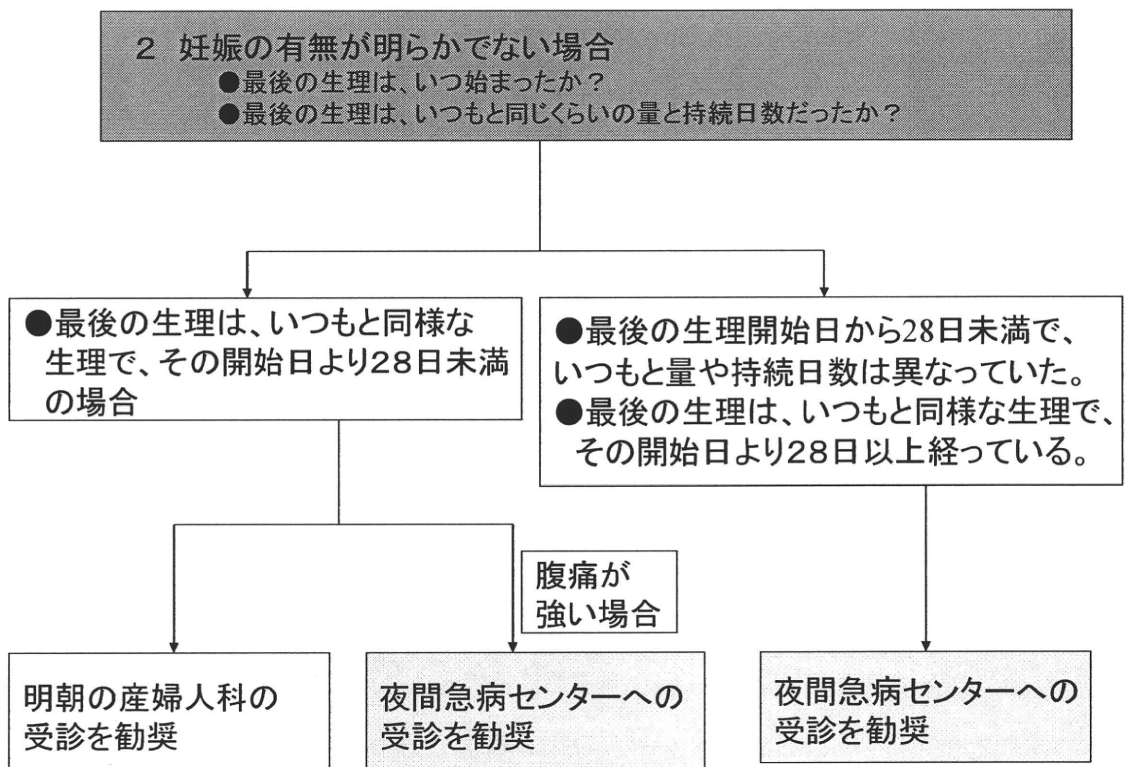


電話相談における振り分け要領(1)

対応1(1)  
変更後

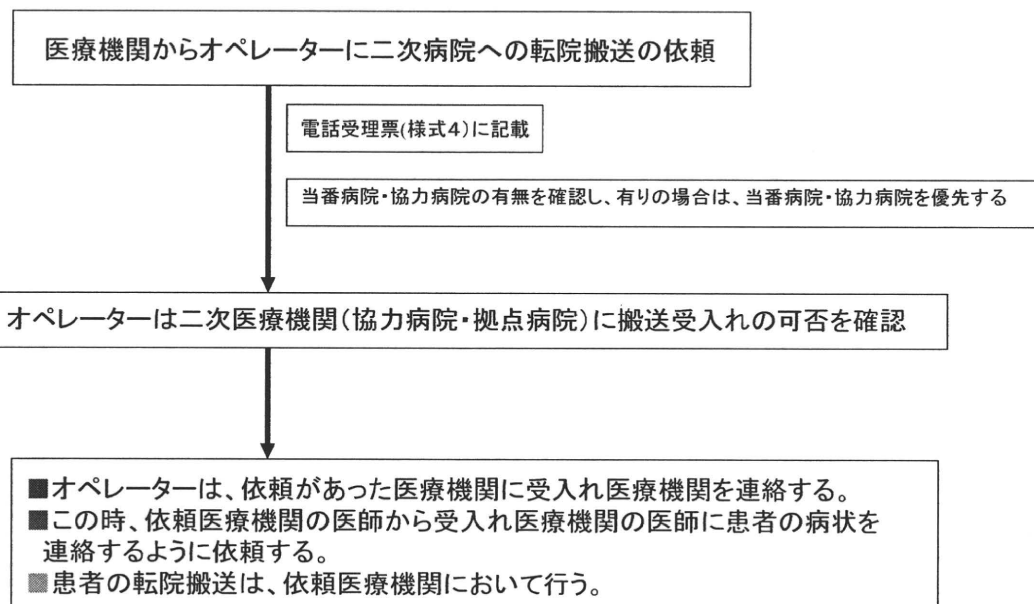


電話相談における振り分け要領(2)



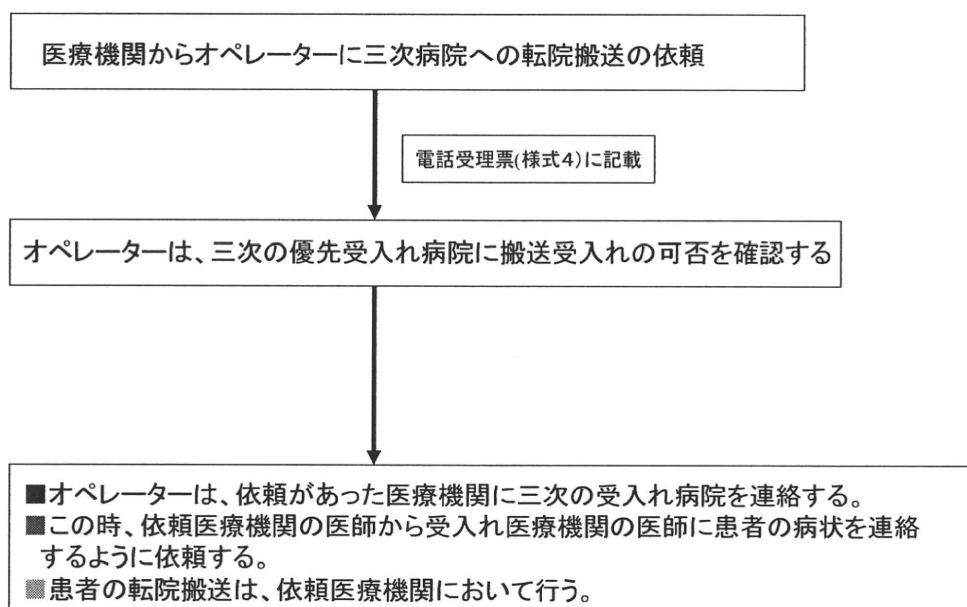
医療機関から患者転院搬送病院の選定依頼があった場合の対応  
(二次医療機関への搬送依頼)

対応 2



医療機関から患者転院搬送病院の選定依頼があった場合の対応  
(三次医療機関への搬送依頼)

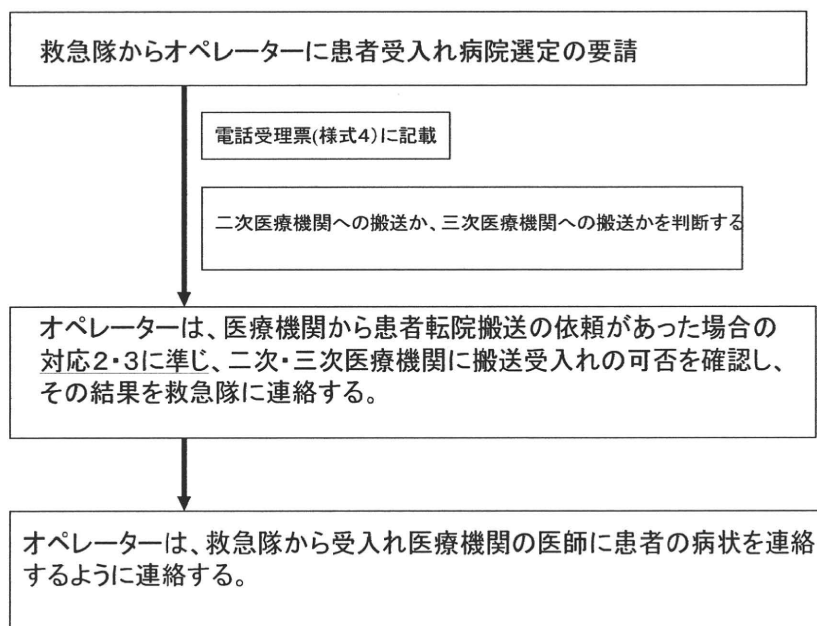
対応 3





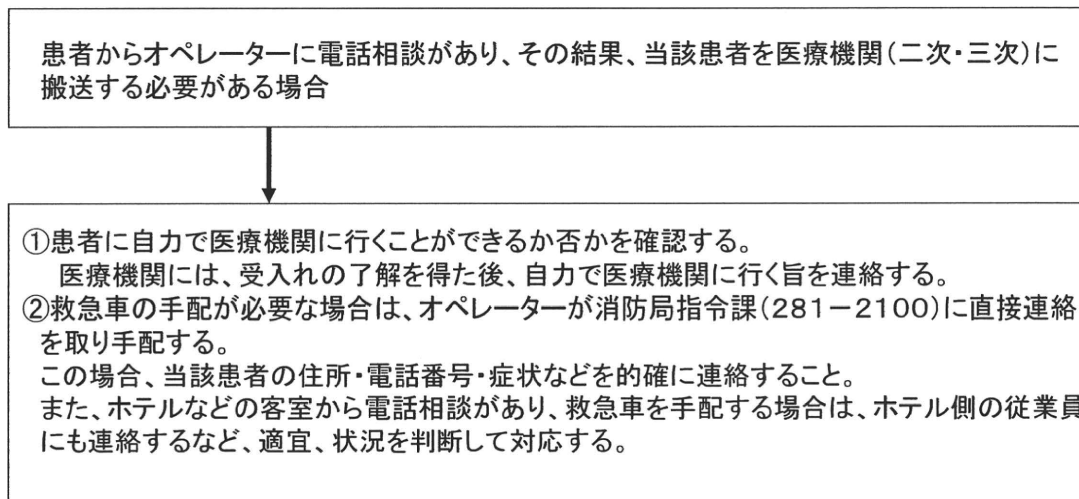
## 救急隊から患者受入れ病院選定の要請があった場合の対応

対応 4



## 患者から電話相談があり、その結果、患者を医療機関に搬送する必要がある場合の対応

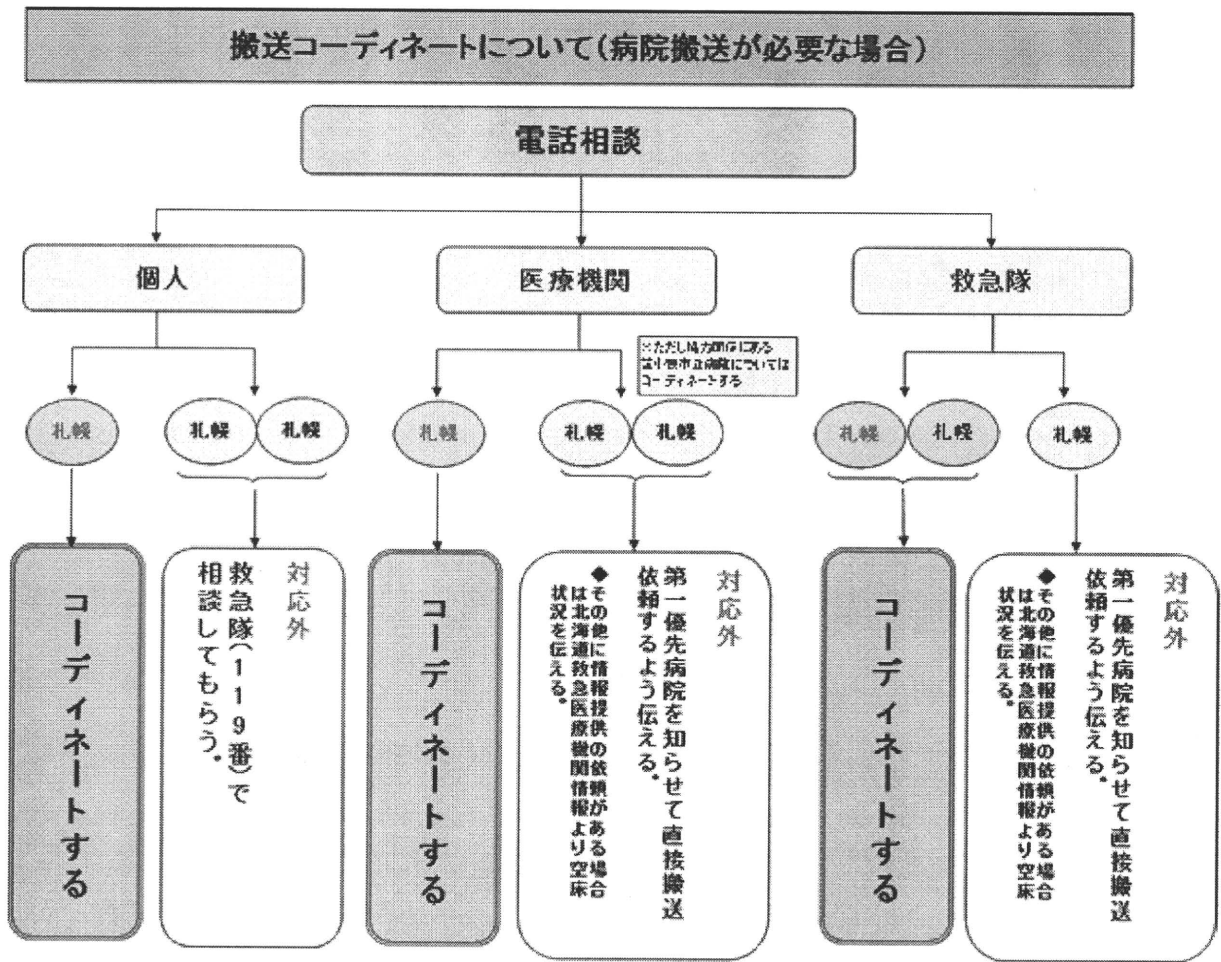
対応 5



搬送コーディネートの対応分類を表1に示す。

電話相談は札幌市内の対応だけではなく、全道からの相談にも対応している。受け入れ病院を紹介する搬送コーディネートについては、札幌市内に限定しているが、札幌圏内の救急隊からの要請があった場合にもコーディネートをしている。また、札幌市外の医療機関からの要請に対しては、優先病院等を伝え直接、病院に連絡していただいている。

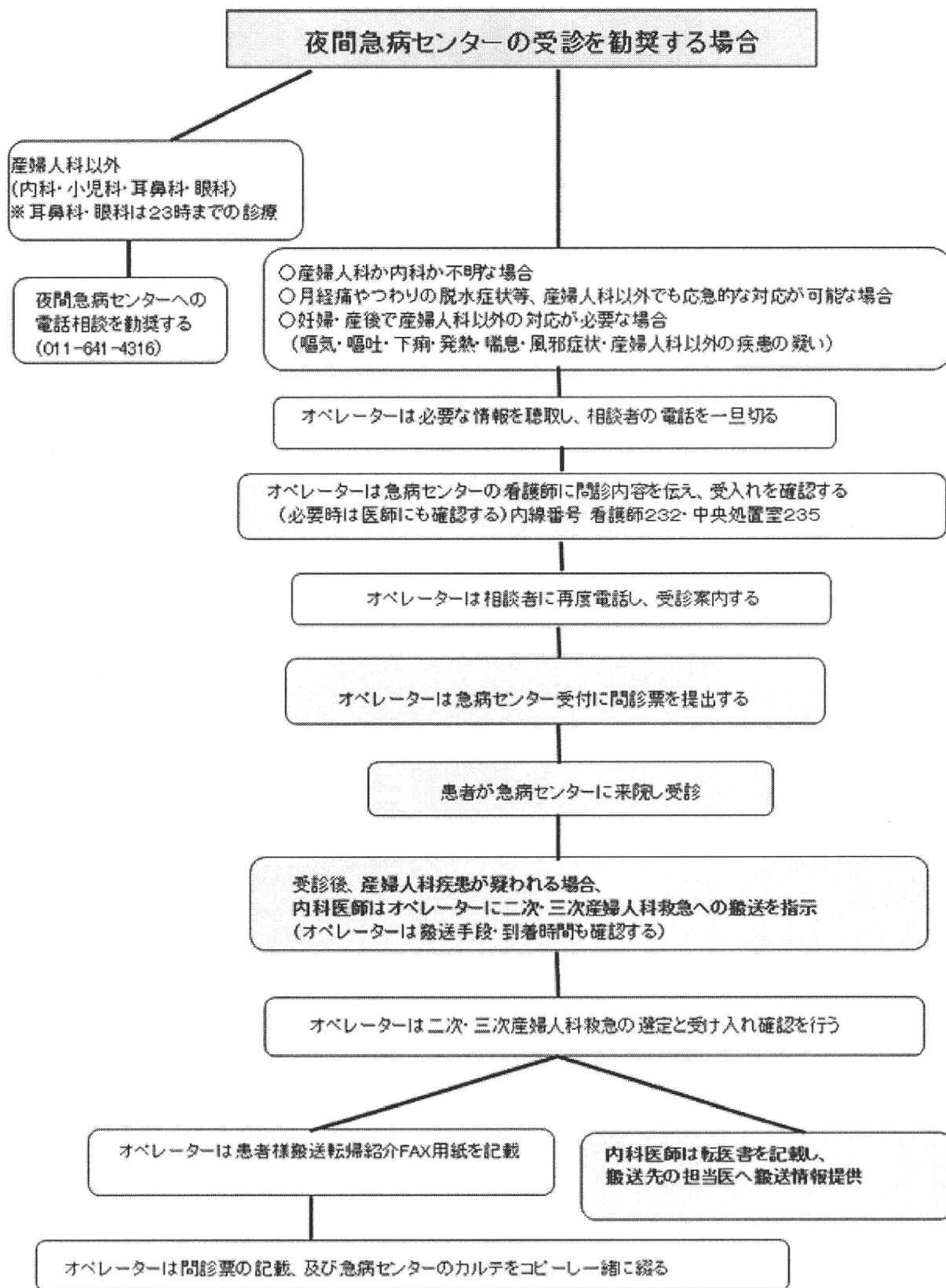
表1 搬送コーディネート対応分類



札幌圏：江別市、石狩市、千歳市、恵庭市、北広島市、当別町、新篠津村

夜間急病センターと連携をとり、夜間急病センターで受診可能な場合に関して、夜間急病センターの対応ルールは表2に示す。

表2 夜間急病センター対応ルール



黄色枠は産婦人科オペレーター、夜間急病センター共通項目

青字 夜間急病センター対応項目

黒字 産婦人科オペレーター対応項目

## 2 北海道救急情報システム（周産期）について

平成21年度のオペレーター業務は、表3で示したように全道の空症状況を確認している。表3のベッド状況照会で参照できるように、全道35施設の産科受け入れ状況・NICUの受け入れ状況を札幌市の受け入れ確認のルールと同様に「○」「△」「×」で確認し、北海道救急医療・広域災害情報システムに代行入力を行っている。表4は平成21年4月23日の受け入れ状況である。

これにより、今まで医療機関が多忙により更新されなかった各病院の産婦人科・NICUの受け入れ状況が毎日更新されるようになった。

表3 ベッド状況照会ページ

### ベッド状況照会

【道南 道央 道北 オホーツク 十勝 根釧 Menu】											
医療機関名	新生児科				産科						
	受入可否	重症	軽傷	担当医師	E-Mail	電話番号	FAX番号	前回更新日時	特記事項	受入可否	
担当医師				E-Mail							電話番号
道南圏											
函館中央病院	○	○								△	
			TEL								
			FAX								
			2010年4月23日 13時4分				2010年4月23日 13時3分				
受入要請については、未熟児センターまでにご連絡下さい。											
各症例につき事前に北2病棟にご相談ください											
市立函館病院	×	×								×	
			TEL								
			FAX								
			2010年4月23日 13時3分				2010年4月23日 13時9分				
北海道立江差病院	×	×								×	
			TEL								
			FAX								
			2010年4月23日 13時9分				2010年4月23日 13時9分				
八雲総合病院	×	○								○	
			TEL								
			FAX								
			2010年4月23日 13時9分				2010年4月23日 13時9分				
次の要件を満たす場合受入可											
①在胎週数34週以後											
②出生時体重2000g以上											
③人口呼吸器の使用が必要ないこと											
妊娠34週以上、推定体重2000g以上受入可											

(○:受入可 △:要相談 ×:受入不可)

表4 北海道救急医療情報システムベット情報

北海道救急医療情報システムベット情報		4月	23日	19時現在	
		重症児	軽症児	産科	
道南圏					
1	函館中央病院	OP入力	○	○	△
2	市立函館病院	〃	×	×	×
3	北海道江差病院	〃	×	×	×
4	八雲総合病院	〃	×	○	○
道央圏					
1	札幌市立病院	〃	○	○	○
2	札幌医科大学付属病院	〃	○	○	×
3	北海道大学病院	〃	×	×	○
4	北海道立子ども総合医療・療育センター	〃	×	×	×
5	NTT東日本札幌病院	〃	×	×	△
6	天使病院	〃	×	×	×
7	北海道社会保険病院	〃	×	○	×
8	手稲溪仁会病院	〃	×	×	○
9	小樽協会病院	〃	○	○	×
10	岩見沢市立総合病院	〃	×	○	○
11	滝川市立病院	〃	×	×	×
12	砂川市立病院	〃	×	△	○
13	深川市立病院	〃	×	○	△
14	日鋼記念病院	〃	△	△	△
15	王子総合病院	〃	×	×	×
16	苫小牧市立病院	〃	×	×	×
道北圏					
1	旭川厚生病院	未対応	—	—	—
2	旭川医科大学病院	OP入力	○	○	○
3	旭川赤十字病院	〃	×	×	×
4	名寄市立総合病院	〃	×	○	○
5	富良野協会病院	〃	×	△	△
6	留萌市立病院	〃	×	×	×
7	市立稚内病院	〃	○	○	○
オホーツク圏					
1	北見赤十字病院	OP入力	○	○	○
2	網走厚生病院	〃	×	○	○
3	北海道紋別病院	〃	×	○	×
4	遠軽厚生病院	〃	△	○	○
十勝圏					
1	帯広厚生病院	自主入力	△	△	△
2	帯広協会病院	自主入力	×	△	△
根釧圏					
1	釧路赤十字病院	自主入力	○	○	○
2	市立釧路総合病院	OP入力	×	×	×
35			11	21	20

赤：総合周産期母子医療センター 青：地域周産期母子医療センター

オペレーターが入力(OP対応)	27施設
医療機関が直接入力(自主入力)	3施設
対応方法が未決定(未対応)	5施設

重症児	11
軽症児	21
産科	20



当番の選定結果は表5に示す様式にまとめて毎日18時以降にファックスまたは、メールにより当番医療機関に周知している。当番表の例を表6に示す。

表5 札幌市産婦人科救急医療機関情報  
**【三次救急】札幌市産婦人科救急医療機関情報**  
 4月 30日 (金)

医療機関名	NICU 受入	産科 受入	更新時間	直接入力欄
<b>三次救急医療機関</b>				
市立札幌病院	○	○	18時 06分	●本日の産科第1優先病院 19時～翌朝7時
北海道大学病院	○	○	18時 10分	●本日の産科第2優先病院 19時～翌朝7時 ●本日の未受診妊婦受入病院(24週以上36週未満及び週数不明) 平日 17時から翌朝9時 ●明日の未受診妊婦受入病院(24週以上36週未満及び週数不明) 土曜 13時から翌朝9時
札幌医科大学附属病院	×	×	18時 08分	
北海道立子ども総合医療・療育センター	△	—	18時 11分	
<b>準三次救急医療機関</b>				
天使病院	×	×	18時 04分	
北海道社会保険病院	×	×	18時 02分	●明日の未受診妊婦受入病院(24週以上36週未満及び週数不明) 土曜 9時から13時

## 【二次救急】 札幌市産婦人科救急医療機関情報

医療機関名	NICU相 当受入	産婦人 科受入	更新時間	直接入力欄
<b>二次救急医療機関</b>				
手稲溪仁会病院 (拠点病院)	-	○	17	●本日の拠点病院 平日 17時～翌朝9時
			20分	●明日の拠点病院 土曜 13時～翌朝9時
NTT東日本札幌病院 (当番病院)	-	-	□	時
			□	分
KKR札幌医療センター (当番病院)	-	-	□	時
			□	分
田畑病院 (当番病院)	-	-	□	時
			□	分
東豊病院 (当番病院)	-	○	15	●本日の当番病院 17時～翌朝9時
			52分	●本日の未受診妊婦受入病院(24週未満及び36週以降) 平日 17時から翌朝9時
札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル (当番病院)	-	-	□	時
			□	分
北海道医療センター (当番病院) ※婦人科のみ	-	-	□	時
			□	分

なお、本日の情報オペレーターは、  
 日中                      夜間                      が担当いたします。

表6 二次三次産婦人科救急当番表

平成22年1月 三次・二次産婦人科救急病院当番表

月日	三次医療機関		三次医療機関・二次医療機関				二次医療機関	
	妊娠経過(在胎週数等)があらかじめ分かっている場合)		未受診受入病院				妊娠経過(在胎週数等)があらかじめ分かっている場合)	
	妊娠24週以上～36週未満		妊娠24週以上～36週未満、及び週数不明		妊娠24週未満、妊娠36週以降		妊娠24週未満、妊娠36週以降	
	第一優先病院	第二優先病院	救急時間帯	日中時間帯	救急時間帯	日中時間帯	拠点病院	当番病院
	●第一優先病院、第二優先病院としての機能は、19:00～翌朝7:00		平日17:00～翌朝9:00 土曜13:00～翌朝9:00 日祝9:00～翌朝9:00	平日9:00～17:00 土曜9:00～13:00	平日17:00～翌朝9:00 土曜13:00～翌朝9:00 日祝9:00～翌朝9:00	平日9:00～17:00 土曜9:00～13:00	平日17:00～翌朝9:00 土曜13:00～翌朝9:00 日祝9:00～翌朝9:00	17:00～翌朝9:00
1 金	市立札幌	北大	市立札幌		手稲溪仁会		手稲溪仁会	
2 土	天使	市立札幌	市立札幌		手稲溪仁会 (9:00～17:00) NTT (17:00～翌朝9:00)		手稲溪仁会	NTT
3 日	北大	市立札幌	北大		手稲溪仁会		手稲溪仁会	
4 月	市立札幌	天使	北大	道社保	KKR	※2	手稲溪仁会	KKR
5 火	市立札幌	天使	北大	道社保	東豊		手稲溪仁会	東豊
6 水	北大	市立札幌	北大	道社保	田畑		手稲溪仁会	田畑
7 木	市立札幌	北大	北大	道社保	手稲溪仁会		手稲溪仁会	
8 金	天使	北大	北大	道社保	マタニティ		手稲溪仁会	マタニティ
9 土	北大	市立札幌	北大	道社保	手稲溪仁会		手稲溪仁会	
10 日	北大	市立札幌	札幌医大		手稲溪仁会		手稲溪仁会	
11 月	市立札幌	北大	札幌医大		手稲溪仁会		手稲溪仁会	
12 火	市立札幌	北大	札幌医大	天使	手稲溪仁会	※2	手稲溪仁会	西札幌
13 水	市立札幌	札幌医大	札幌医大	天使	マタニティ		手稲溪仁会	マタニティ
14 木	札幌医大	市立札幌	札幌医大	天使	手稲溪仁会		手稲溪仁会	
15 金	札幌医大	北大	札幌医大	天使	東豊		手稲溪仁会	東豊
16 土	市立札幌	札幌医大	札幌医大	天使	手稲溪仁会		手稲溪仁会	
17 日	札幌医大	市立札幌	市立札幌		手稲溪仁会		手稲溪仁会	
18 月	市立札幌	札幌医大	市立札幌	道社保	手稲溪仁会	※2	手稲溪仁会	西札幌
19 火	道社保	市立札幌	市立札幌	道社保	手稲溪仁会		手稲溪仁会	
20 水	北大	市立札幌	市立札幌	道社保	東豊		手稲溪仁会	東豊
21 木	道社保	北大	市立札幌	道社保	NTT		手稲溪仁会	NTT
22 金	道社保	天使	市立札幌	道社保	手稲溪仁会		手稲溪仁会	
23 土	市立札幌	北大	市立札幌	道社保	手稲溪仁会		手稲溪仁会	
24 日	市立札幌	北大	市立札幌		手稲溪仁会	手稲溪仁会		
25 月	市立札幌	天使	市立札幌	天使	田畑	※2	手稲溪仁会	田畑
26 火	市立札幌	北大	市立札幌	天使	マタニティ		手稲溪仁会	マタニティ
27 水	北大	市立札幌	市立札幌	天使	手稲溪仁会		手稲溪仁会	
28 木	道社保	北大	市立札幌	天使	手稲溪仁会		手稲溪仁会	西札幌
29 金	北大	道社保	市立札幌	天使	KKR		手稲溪仁会	KKR
30 土	市立札幌	北大	市立札幌	天使	手稲溪仁会		手稲溪仁会	
31 日	北大		北大		手稲溪仁会	手稲溪仁会		

※1 産婦人科救急情報オペレーターの対応時間

○ 産婦人科救急情報オペレーターは、19:00～翌朝7:00の時間帯において対応しています。(622-3299 サンプキュウキュウ:産婦救急)

※2 妊娠24週未満、妊娠36週以降の未受診患者が日中時間帯(平日9:00～17:00土曜9:00～13:00)に発生した場合、救急隊は、次の候補病院から選択します。

○ 候補病院: KKR札幌医療センター、田畑病院、札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル、東豊病院

## 【対策3】市民からの産婦人科に関する救急相談窓口の設置

### 1 事業の概要

産婦人科救急相談電話は、夜間における不要不急の相談にも対応し、産婦人科医師などの負担を軽減するとともに、深夜における性器出血などの産婦人科疾患に対する不安などに助産師が適切に対応することを目的に実施している。

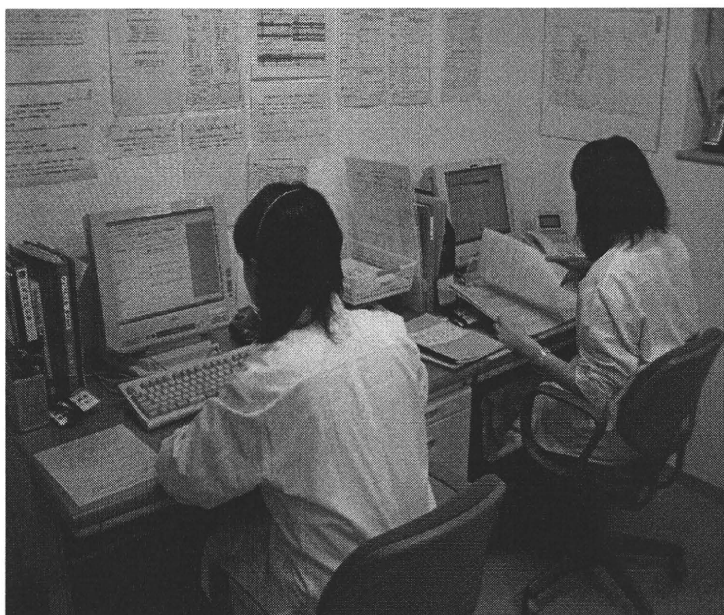
産婦人科救急相談電話の概要は、夜間に寄せられる市民等からの産婦人科救急に関する電話相談に対して、その主訴や具体的な症状、治療経過などから、救急対応が必要か、明日以降の受診で良いかのトリアージを行い、必要な助言や指導をし、救急対応が必要な患者に対しては、その日の受入れ可能な病院を紹介することである。

[ 名 称 ]

「札幌市産婦人科救急電話相談」

[回線番号] 011-622-3299 (サンピキュウキュウ)

[周知方法] ・札幌市のホームページ(トップ)に掲載  
・主要新聞朝刊の市内ページ「救急欄」に掲載  
・携帯サイト「札幌市総合情報：救急当番病院」に掲載  
・その他(広報さっぽろ 等)



## 【対策4】未受診妊婦の防止・解消対策の推進

### 1 事業の目的

札幌市では、未受診のまま出産を迎えることの危険性を広く市民に訴えるとともに、誰もが安心して妊娠・出産できる社会づくりを行うことを目的に、平成22年1月18日から「未受診妊婦防止・解消キャンペーン」を実施している。

### 2 事業のコンセプト

「赤ちゃんのキモチで考えよう！」

未受診妊婦の問題は、妊婦だけでなく、その家庭の問題や周囲の無関心など「オトナ側の都合」による社会の問題でもある。そこで、かつては誰もが赤ちゃんであったことに着目し、「赤ちゃんのキモチ」で考えることをコンセプトにしている。

### 3 事業のフレーム

3ヶ年に渡って継続し、発展的に展開する。事業の展開に当っては、広く民間企業と協力関係を組み、情報の到達度、深度をより強くする。

(年度の事業コンセプト)

- ① 21年度 : はじめる
- ② 22年度 : ひろげる
- ③ 23年度 : つなげる
- ④ 24年度以降 : つながる

### 4 事業予算と主な事業展開

(1) 21年度

- ①交通広告（地下鉄全線の全車両にポスターを掲示）
- ②薬局・ドラッグストア・病院・診療所（産婦人科・小児科）にポスターを掲示
- ③短大・専門学校・美容院・児童会館にポスター掲示
- ④区役所・保健センター・図書館などの公共施設にポスター掲示
- ⑤TV コマーシャルの放映
- ⑥映画館におけるシネアドコマーシャルの放映



- ⑦赤ちゃんからのメッセージ入り妊娠届書の作成
- ⑧PC サイト・携帯サイトを利用した情報発信
- ⑨テレビニュース、新聞記事による情報発信

(2) 22 年度

- ①製薬企業・ベビー用品企業・トイタリー企業などとの協力関係の強化  
商品にシール・チラシの添付販売
- ②学生とのコラボレーション  
学生による未受診妊婦の防止解消方法のアイデア検討学生による  
母子手帳デザインの製作
- ③札幌市事業とのコラボレーション  
PMF・雪祭り事業を利用した啓発事業の実施

(3) 23 年度

- ①企業アライアンスの拡大  
多年層ターゲットへの告知、アピール
- ②学生とのコラボレーション事業の拡大  
札幌市立大学・北大・札幌大他、市内大学・専門学校などとの  
コラボレーションの拡大
- ③主婦・OL・女子学生などによるコラボレーション事業の拡大

(4) 24 年度以降

- ①アライアンス企業による自主的キャンペーンの展開
- ②企業・市民・病院による積極的なキャンペーン参加など自主的な輪の拡大
- ③妊婦を含む多数の市民を動かし、ムーブメントのつながりを継続する

## 5 未受診妊婦防止・解消キャンペーン ～「赤ちゃんのキモチで考えよう！」～



20

## 未受診妊婦について

①札幌市内で、平成20年10月～平成22年2月までの1年半の間で出産にいたった未受診妊婦は41名

※ H20.10～H21.3 13名  
H21.4～H21.9 12名 H21.10～H22.3 7名  
H22.4～H22.9 5名 H22.10～H22.11 4名

- ②未受診妊婦は早産・前期破水等の分娩時の異常が多い傾向にある
- ③未受診妊婦となる背景には、経済的な理由や複雑な事情がある



21

## キャンペーンの目的

- 医師の診断をまったく受けず「飛び込み出産」を行う妊婦に対して、その危険性を訴える。
- 札幌市と民間企業・団体が連携し、女性が安心して妊娠・出産できる社会づくりを市民に対して、呼びかける。

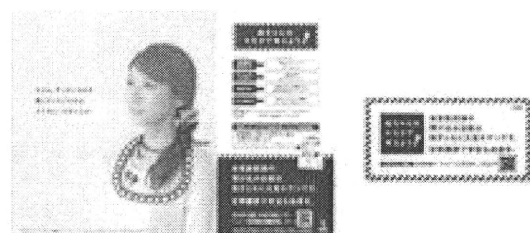
## キャンペーンの期間

○平成21年度～平成23年度



22

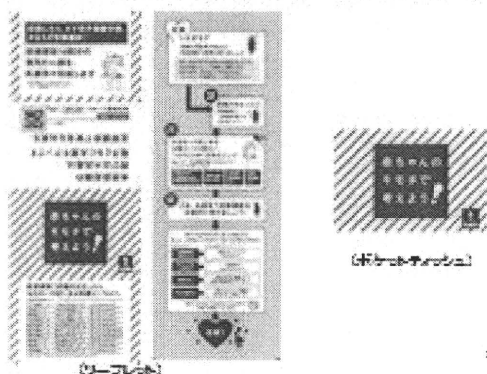
## ポスター・ステッカーの掲示



地下鉄車両内・薬局・ドラッグストア・短大・医療機関・専門学校・美容院等に掲示

23

## リーフレット入りポケットティッシュの配布



(リーフレット)

(ポケットティッシュ)

24

## TV 特別ミニ番組の放映

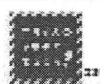
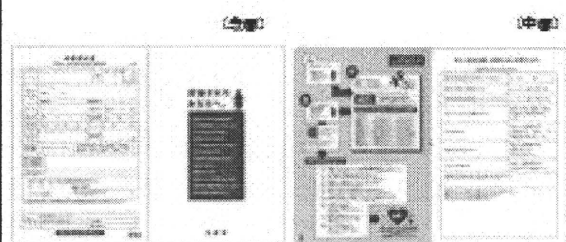


（各2分30秒）

※「赤ちゃんのキモチで考えよう」WBSZ上にて4週連続放映

25

## 妊娠届出書の改訂



## 平成22年度の新たな取り組み

- 妊娠検査薬に啓発シールを貼付し、「未受診」を水障で食い止める
- 新たな広告ビジュアル「B種類」のバリエーション
- 大通地区・ススキノ地区にて街頭(音声)放送
- 平成23年度母子健康手帳表紙デザイン募集 など



## 妊娠検査薬への啓発シール貼付



妊娠・出産の不安や悩みの相談窓口として  
保健センターを紹介

### 【協力】

妊娠検査薬メーカー4社  
ドラッグストア2社(157店舗)、札幌薬剤師会全員薬局(571店舗)

## 新たな広告ビジュアル



B種類10ヶ所に掲出

## キャンペーンパートナー企業

アインファーマシーズ、サッポロドラッグストア、  
ツルハホールディングス、札幌薬剤師会全員薬局

アラクス、オムロンヘルスケア、ミズホメディ、  
メディカアシスタンス(ロート製薬)

つば八、イオン北海道、セイコーマート

サッポロビール、アサヒビール、キリンビール  
三井山放送局

## キャンペーン 後援団体

社団法人 札幌市区研会  
社団法人 札幌薬剤師会  
社団法人 北海道看護協会  
BEWAY 札幌美容協同組合



## 平成23年度母子健康手帳表紙デザイン募集

○デザイン公募(期間:9月15日~10月15日)受付終了

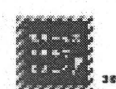
○第1次審査にて10点を選出

○市民投票(期間:10月22日~27日)終了

○第2次審査(11月上旬予定)



応募作品(226点)の中から、  
市民投票と審査を行い、  
大賞(1点)、優秀賞(2点)を選出し、  
表紙デザインに使用する作品を決定する



**第 2 部**  
**産婦人科救急事業**  
**調査報告**

# 【調査報告1】産婦人科救急情報オペレーター事業

## 1 二次・三救急医療体制の実施状況について

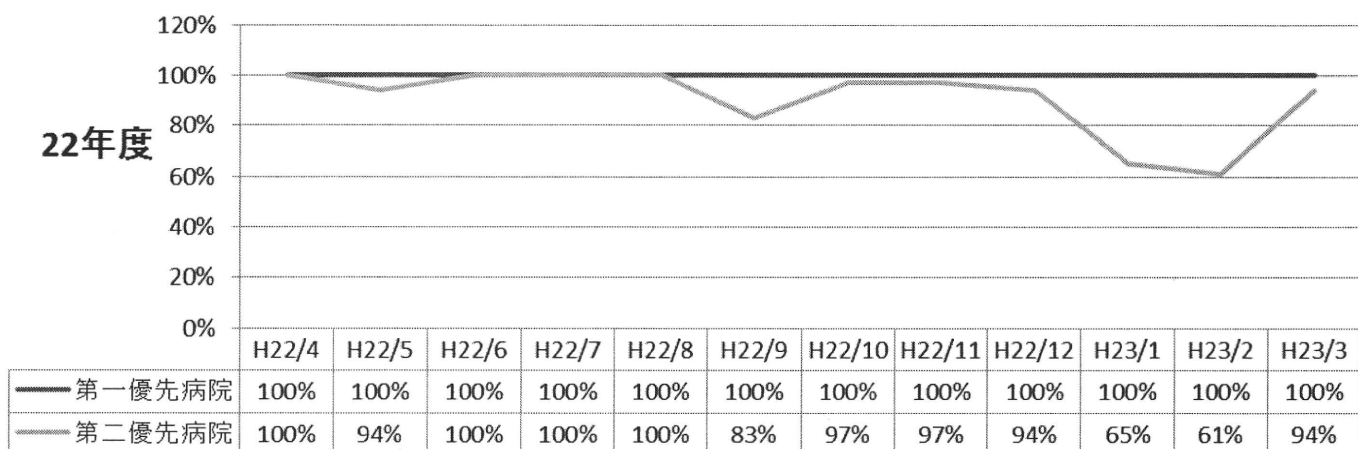
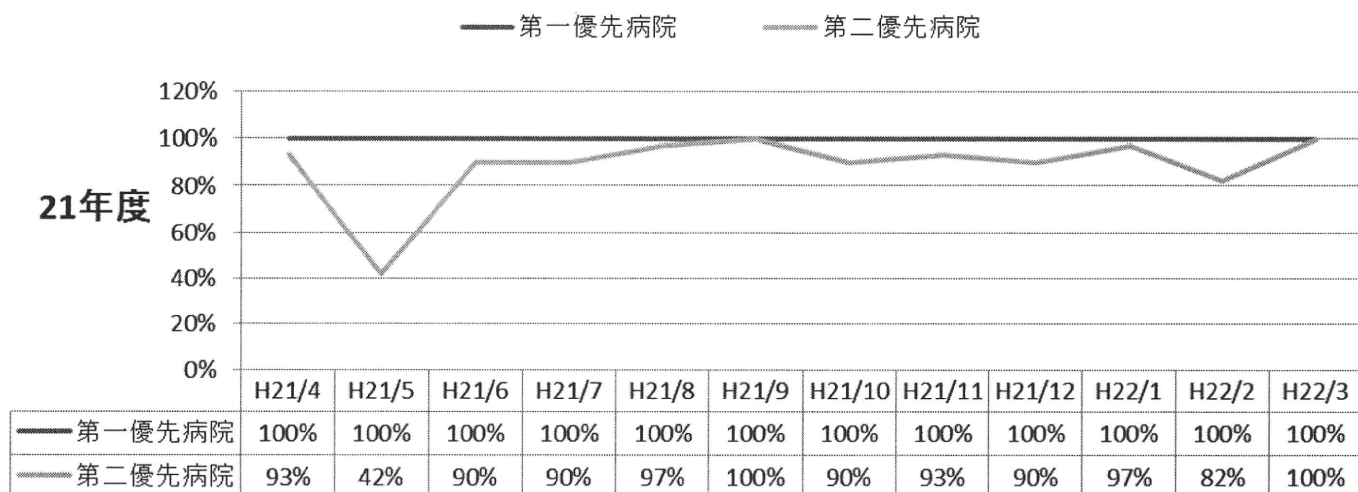
調査機関：平成22年4月1日～平成23年3月31日（365日間）

上記調査期間において、札幌市産婦人科救急の当番病院の状況を報告する。

### (1) 三次救急病院の第一優先病院、第二優先病院の指定状況について

優先病院の決定割合を表1に示した。平成22年4月1日から平成23年3月31日までの期間で第一優先病院は、前年同様100%決定され、第二優先病院は、90%決定されており、前年と比べ、1.4%増加している。

表1 優先病院決定割合





三次救急病院毎の優先病院としての決定回数を、図1に示す。第一優先となったのは、市立札幌病院と北海道社会保険病院で全体の7割を占めており、次いで、北海道大学病院、札幌医科大学付属病院、天使病院の順になっている。

図1 三次救急病院の優先決定回数

